



福島小学校だより

ふくしま

ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

No. 10

平成28年1月29日



光の春

校長 嶋本 憲司

2月3日は節分、そして4日は立春です。立春と聞くと、すぐにも暖かくなってくるような気がします。1年の中で一番寒い月かもしれません。

けれども、日の出の時刻は早く、日の入りの時刻は遅くなってきます。太陽の出ている時間は、毎日2分ぐらいずつ長くなってきます。また、太陽の地平線からの角度も少しずつ高くなり、日差しが強くなってきて、日中の明るさが増してきます。気温はそれでも低いのですが、春の訪れを感じられるようになってきます。春は、光からやってくるのです。

こうしたことから、ロシアでは、2月のことを「光の春」と言うそうです。長く寒い冬を耐え、春を心待ちにしている国の人々ならではの表現だと思います。

この頃になると、日当たりの良い空き地や土手では、オオイヌノフグリの青い小さな花をみつけたり、つくしが草の間から顔を出しているのに気づくようになります。一方、樹木は、何の変化もないように見えますが、よく見ると枝先にたくさんの芽がついています。変わらないように見える樹木も、しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、花を咲かせたり葉を芽吹かせたりする準備を怠りなく進めています。

子ども達にとっても、2月はちょうどそんな時期です。1年生から5年生は進級に向けて、6年生は卒業・進学に向けて、それぞれの学年の仕上げをする時です。勉強や運動はもちろん、友達との関わりやあいさつなどの日常生活を見直し、がんばってきたことやできるようになってきたことを確かめてください。そして、得意なことを伸ばし、苦手なことを克服できるように、毎日の学習や生活を真剣に取り組み、しっかり力をつけていってほしいと思います。

光の春。季節は、暖かい日と寒い日を繰り返しながら本格的な春へと歩んでいきます。3学期も、登校する日はあと37日（6年生は36日）。皆さんも、それぞれの春に向かって、一日一日を大切に積み上げていきましょう。

2月の学校行事予定です。

1 (月) 交通・挨拶指導 きのくに子ども見守り強化の日	6 (土) 福島ミニオリンピック	20 (土) 子どもセンター行事 「物作り教室」
2 (火) パトリック英語活動	11 (木) 建国記念の日	21 (日) 市町村対抗ジュニア駅伝 出場者 6年 森井健心くん 5年 藤木心愛さん
3 (水) いじめなくそうデー 委員会活動 節分	12 (金) 6年お別れ遠足	23 (火) パトリック英語活動
4 (木) 集金一日目 立春 避難訓練 (火災)	15 (月) ALT英語活動 きのくに子ども見守り強化の日	24 (水) 漢字検定
5 (金) 児童会役員選挙 集金二日目 H28 入学説明会	16 (火) ふれあい集会 スクールカウンセラー来校	25 (木) 合唱指導講師来校 3/3 6年生をおくる会 3/23 卒業式 3/24 終業式
	17 (水) クラブ活動 (3年見学)	
	19 (金) 授業参観・学級懇談 学校評議員会・学校関係者評価委員会	

おもちゃランドでお・も・て・な・し

2年生は2学期生活科でおもちゃ作りに取り組んできました。図書室に置いている工作の本の中から作りたいと思ったおもちゃを選んで、グループに分けられました。作りたいものでグループに分けたので、子どもたちのモチベーションは高く、生活の時間になると真剣なまなざしでおもちゃ作りに取り組んでいました。ただ、おもちゃを作るだけでなく、1年生に遊んでもらうということが最終の目的だったこともあり、「どうやったら楽しんでもらえるかな?」「楽しむためには、ここをこうしたらいい」と自分たちで考え、ルール作りなどを進めることができました。「初めて遊ぶおもちゃもあるし、何回チャレンジできるといいかな?」「1年生が遊ぶには難しすぎないかな?」と子どもたちは試行錯誤を繰り返しました。

12月18日に「おもちゃランドでお・も・て・な・し」に1年生を招待しました。準備したおもちゃは金魚すくい・帆かけ・弓・輪ゴム鉄砲・ウクレレ・ビー玉迷路の6つです。実際に1年生が遊びに来ると、自分たちが思い描いていた様子との違いに大変戸惑っていました。1年生が一気に何人も遊びに来て、あわててしまったり、うまく回すことができなかつたりしましたが、その場で自分たちで判断をしながら、危機を乗り越えていました。1年生に1番好評だったのは金魚すくいでした。どんどん1年生が遊びに来るので、魚をすくうポイが足りなくなってしまうました。お店を運営して点数を数える子とポイを作る子に分かれることで、少しでも1年生を待たせないような工夫をしていました。

子どもたちは自分以外の人のことを考えて準備したり、お店をするということの楽しさと大変さを学ぶことができたのではないかと思います。

